



# 一人ひとりの夢・思いを大切に しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元  
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1  
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail [info@shinafuku.org](mailto:info@shinafuku.org)



## 目次

- (1) らうんじ
- (2~5) 令和2年度事業報告
- (6~7) 決算報告・寄付者一覧
- (8) 豆知識

### みっこ隊今までありがとう

植樹式を終えて  
 みっこ隊の皆さんと  
 (関連記事 8面)

## らうんじ

八潮団地の誕生と同時に品川総合福祉センターが生まれ、早いもので約四十年を迎えようとしています。

当初は法人本部の横にある八潮橋も無く、大井町駅や品川駅からのバスは清掃工場の方を回っていました。八潮橋ができてとても近く便利になりました。

約四十年間で大きく変わったのは、少子高齢化の進行により、小学校が三校・中学校が二校ありましたが、子供の数が減少し現在は小中一貫校である八潮学園のみになりました。一方で八潮南中学校の後を、現在、八潮南特別養護老人ホームに改築し当法人が運営受託しています。

八潮団地の品川区内における高齢化率は急速に上昇し、他地区を大きく引き離してトップになっています。

法人の理念である「地域とともに」を実践する意味からも、できる限り在宅で自立した生活を継続できるように、介護予防にも力を入れていきたいと考えています。

八潮在宅サービスセンター  
 八潮在宅介護支援センター

施設長 伊藤直樹

# 令和二年度 事業報告

## 品川総合福祉センター

中期経営計画二年目にあたり、三重重点課題について取り組みました。収支改善では施設ごとの改善計画と進行管理

の実施、又業務委託費、超過勤務の削減を図り、超勤30%減など一定の改善を実現しました。人権部会では「不適切ケアに関する職員アンケート」の結果をまとめ、職員の人権意識向上を図りました。人材部会では職場環境の改善の為働き方改革の基本方針策定や、研修記録の整備、ホームページの改良など人材採用育成、定着に取り組みました。

新規事業として令和四年度から品川区立八潮北保育園の当法人への運営業務委託が決定しました。

新型コロナウイルス感染防止として館内消毒、換気、三密回避、健康管理等年間を通じ法人をあげて取り組み、二次感染は回避できましたが、

行事中止、外出・面会制限等利用者の皆様には多くのご負担をおかけする事となりました。

## か え で 荘

令和二年度は、利用者だけでなくすべての人が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年でした。

しかし、そんな中でも、利用者各々が大事にしている日常に寄り添い「いつまでも私らしく暮らしたい」をテーマにサービスマン向上委員会の取り組みを始めました。何気ない日常ですが、みんなの情報共有し、意識的に関わることで利用者が生き活きと変化していくその姿に、価値ある気づきを実感できたのではないのでしょうか。年度末には、しなふく向上発表会でこの体験を報告でき、大きな財産となりました。

## 中延特別養護老人ホーム

感染症対策により、制限の

多い生活を送る入所者のため施設内での生活を少しでも楽しんで頂けるように、そして充実した日々を過ごして頂けるように職員で考えケアにあたりました。地域交流の一環として開催していた『喫茶せせらぎ』はホーム喫茶として毎月開催しました。季節を感じて頂ける食材を使い、入所者の希望を取り入れたメニューで、毎回、素敵な笑顔に包まれる時間となりました。



一緒にお茶しませんか？

## 八潮南特別養護老人ホーム

令和二年度は、新型コロナウイルスの対応に迫られた一年でした。施設内外で職員一人ひとりが感染予防に努め、行事等のやり方を工夫し、ご家族にも面会制限をお願いしました。職員一名の罹患がありました。適切な対応によりそれ以上の感染拡大はありませんでした。

そのような中で収支改善に

努めました。が、入院者も多く、目標稼働率は達成できなかったものの、新年度に向けて特養、ショートステイの定員変更を検討し、実施に向けて動きました。

## 八潮南グループホーム

「共に生活する」ことを意識し、買い物や食事作り等を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の関係で外出は控え、食材を切る、調理する事を中心に行いました。

また、外出できない分、品川体操等を行い筋力が低下しないよう筋力維持に努めました。室内にいる事が増えたため、キッチンカーを呼んだり、季節行事や誕生日会に力を入れ、書道や生け花を利用者に定期的に実施してもらおう事で楽しみに繋がるようにしました。



リモート面会！



利用者が活けた桜を玄関に飾りました

**八潮在宅介護支援センター**

感染防止対策を徹底してまいりました。利用者の方々に安心・安全・快適に入浴して頂けるよう、機械式の入浴設備を交換・購入しました。

また、できるだけ自立した生活を送っていただくための、介護予防事業の「マシンドレーニング」については理学療法士を配置し、希望者が多く皆さん積極的に参加され、身体機能の維持が図られていました。

**八潮在宅介護支援センター**

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等が発出され、定例の地区ケア会議など最少人数で開催や中止、認知症サポーター養成講座や「図書館カフェ」など地域で行われている「認知症カフェ」なども一部中止となりました。次年度については開催方法を検討して、地域及び関係機関との連携を図り、地域活動の推進を図っていききたいと思っております。

**大井在宅介護支援センター**

**大井第二在宅介護支援センター**

令和二年十月一日より、大井第二在宅介護支援センターにモデル事業として「品川区大井第二障害者計画相談支援事業所」が併設されました。

大井地区の高齢である障害者相談が受けられるようになり、高齢者担当のケアマネジャーと共に、質の高い相談業務を行ってまいります。

**大井在宅介護支援センター**

「家にばかりいて足腰が弱っちゃう」という多くの高齢者の方々の声に応え、キャッチフレーズ「転ばない体作れま



転倒予防エクササイズ!

す!」を掲げ、「転倒予防エクササイズ」という体操を考案いたしました。毎日のサー

ビスプログラムに加えており、「なんだか足が軽くなって歩きやすい」とお客様から高評価をいただいております。

**中延在宅介護支援センター**

社会情勢に合わせ、当事業所も在宅ワークを取り入れました。事業所に出勤する日数の減少により、担当する利用者にも不利益が生じないよう、職員間で情報を共有できるよう努めました。

また週一回の定例会では丁寧にケース検討を行い、マネジメント向上に繋がっています。

**中延在宅介護支援センター**

利用者や地域の方が楽しみにしている『地域開放事業』が中止となり残念でしたが、利用者や職員が共に楽しむ一日として、館内行事の『くつろぎ祭り』を開催し、手作りの御神輿が館内を練り歩き大盛況でした。感染症予防に努め、安全に

楽しく通所して頂くことが出来ました。



「ワッショイ!ワッショイ!」(職員)  
「頑張れ!頑張れ!」(利用者)

**かもめ園(知的)**

医療的ケアが必要となった方が一名有料老人ホームへ入所となりました。

全体的に高齢化や障害の重度化が進み、年度末には介護の充実化を進めるためフロア編成を実施しました。日中活動では個別活動を重視し、新型コロナウイルスの感染状況に応じ外出や楽しめる企画を少人数で実施し、行事も小規模で実施しました。

館内で過ごすことが多くなっ

たことで利用者のストレスが増加したため、活動内で出来る限り精神的な不安の解消等に努めました。

東京都福祉サービス第三者評価の利用者調査を受審し、サービスの向上に努めました。

**かもめ園(身体)**

新型コロナウイルス感染症予防に関し、職員の定期的なPCR検査を実施しました。

また、外出、外泊、面会について制限を設け利用者やご家族にも協力要請をいたしました。

環境整備面では、リクライニング式ベッドの整備と床走行式リフト、リモート面会の推進のためICT機器を導入しました。各種行事や日中活動では感染予防を考慮し、新しい生活様式を取り入れ実施しました。

また、昨年に引き続きマスク関連商品を製作し好評でした。東京都福祉サービス第三者評価の利用者調査を受審し、サービスの向上に努めました。

**さつき**

軽作業、クリーニング作業、売店、喫茶の作業を実施しました。



タオルの結束機の扱いもお手のものです！

引き続き、新規に様々な障害をお持ちの方を受け入れました。コロナ禍ではありましたが、職員や利用者の皆さんが努力して頂いたおかげで、また、ご家族の温かなご理解も頂戴し、安定した仕事の提供や、工賃の向上も実現が出来ました。

今後も一層感染予防には留意し、利用者お一人お一人の障害をしっかりと受け止め、皆様が安心して通所ができるよう努めていきたいと思えます。

**福祉工場しながわ**

福祉工場しながわでは、三十五名の従業員が働いております。清掃・製パン・製陶事業を展開しており、コロナ禍において就労事情が厳しい中ではありましたが、令和二年度の就労支援事業全体の収支としては黒字で終わっています。

唯一行事として、感染症対策の徹底を施したうえで事業所内にて細やかな暑気払いを開催しました。毎年秋に開催していた一泊旅行は中止、忘年会も中止となりました。楽しみが少ない中ですが、職員、従業員共に頑張っております。



感染症対策を徹底して開催  
従業員の皆さんお疲れ様です！

**サンかもめ**

令和元年度末から新型コロナウイルス対応、感染拡大防止を進めた一年でした。東京都に緊急事態宣言が発



散歩とゲームをしながら  
地域清掃

令された数カ月は利用者を通所自粛をお願いしました。事業も感染防止に向け日課の調整、環境整備を進め、人数が集結する保護者会等が中止とさせていたいただき、ご家庭には連絡文書、写真等で施設のご様子をお伝えしてきました。

一方では、日課、プログラムの見直しを進め、利用者の社会貢献活動として地域清掃を復活させました。

**なぎさの家**

鮫洲なぎさの家では昨年四月、一名を新たに迎え入れています。

コロナ禍において帰宅が難しく、多くの制限がある中で



身内だけの納涼会を楽しみました

の暮らしですが、通所のない休日には近隣への散歩、回転寿司のテイクアウトやデリバリーを活用して潤いのある生活を少しでも提供できればと実施してきました。

夏には内々のみでのバーベキューを楽しむことが出来ました。今年の春は鮫洲運動公園が一望できる環境を生かしてベランダにて花見を楽しみました。

**心身障害者福祉会館**

新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、事業運営を進めました。その中で、各講習会や会館まつり等、中止せざるを得ない事業もあり、会館をご利用の皆様には、予定していた事業が出来ず、心苦しい一年となりました。

しかし感染症対策を徹底し、リモートコンサートを行ったクリスマス会やワークショップ（創作活動）を行い、工夫次第で出来ると分かった事が、今後の事業運営を進めていく力になったと思っております。今後新たな事業の形も考え、進化していきたいと思っております。



ワークショップでお花を作成しました！

**八潮中央保育園**

年間を通して定員を満了した状態で運営しています。八潮の恵まれた自然の中で存分に身体を動かし、太陽の光を一杯浴びて遊びました。



かくれんぼ中…  
「みつけたっ！」

感染症対策として、行事の規模を縮小しての開催、日常生活では手洗いの励行の強化、食事場面でのパーティションの利用等を行い、感染防止に努めました。

**大井三丁目高齢者憩いの場**

令和二年三月より六月まで、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、休館となりました。七月から開館しましたが、飲食禁止、全ての事業は六名の予約制として実施。火曜日・

金曜日に実施されていた縁側カフェの枠はピンコ道場を実施、土曜日は三月まで休館となりました。

二回目の緊急事態宣言中も、園芸倶楽部・ピンコ道場・地域ミニデイを実施し引きこもり防止、生活活性化等の介護予防の場を設け役割を担いました。

**地域福祉課**

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、地域交流事業をはじめ各種サークル活動も一部を除き中止となりました。

外出できない利用者には、生活を楽しむことを考え、本部を中心としたミニバザー・工作・寄贈のお菓子をワゴンに乗せゲームを行いながら、楽しんでもらうことができました。

さらに、コロナ禍の中、沈んだ気持ちを少しでも明るくする様に、本部一階ロビーをイーズさんに装飾して頂き、利用者他の来館者に喜んでいただきました。

### 令和2年度のご寄付

皆様から、ご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

石澤 裕子	川村 勝也	高塚 純江	永田 元
尾島 慎一	川村 正知	千葉法座	中澤 秀雄
小野 孝	島崎 妙子	中澤 秀雄	野村 禎一
加藤 久明			

団体

イトーヨーカドー労働組合大井町支部	品川区旗の台福祉会館と住民の会	東京都共同募金会	目黒街角クリスマス実行委員会
かもめ園家族会(知的)	(社福)品川区社会福祉協議会	西中三親友会	八潮中央保育園父母の会

### 貸借対照表

令和03年 03月 31日 現在

令和2年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,178,234,585	1,244,048,189	-65,813,604	流動負債	326,883,904	293,163,464	33,720,440
現金預金	743,651,395	834,567,602	-90,916,207	事業未払金	172,048,038	161,946,089	10,101,949
事業未収金	416,044,507	385,881,333	30,163,174	<small>1年以上経過する固定資産借入金</small>	10,010,000	10,010,000	
未収補助金	8,316,240	14,668,500	-6,352,260	<small>1年以内返済予定リース債務</small>	7,751,232	7,751,232	
商品・製品	2,580,876	2,379,601	201,275	預り金	10,971,431	5,769,890	5,201,541
原材料	1,925,847	2,038,821	-112,974	職員預り金	11,528,203	10,811,253	716,950
立替金	583,104	212,734	370,370	賞与引当金	114,575,000	96,875,000	17,700,000
前払金	1,388,340	1,099,800	288,540	固定負債	313,606,928	322,731,926	-9,124,998
前払費用	350,211	322,709	27,502	設備資金借入金	88,420,000	98,430,000	-10,010,000
仮払金	8,484,100	7,983,800	500,300	リース債務	21,490,380	29,241,612	-7,751,232
徴収不能引当金	-5,090,035	-5,106,711	16,676	退職給付引当金	203,696,548	195,060,314	8,636,234
固定資産	1,598,090,827	1,606,229,187	-8,138,360	負債の部合計	640,490,832	615,895,390	24,595,442
(基本財産)	804,096,265	887,584,731	-83,488,466	純資産の部			
建物	803,096,265	886,584,731	-83,488,466	基本金	1,000,000	1,000,000	
定期預金	1,000,000	1,000,000		国庫補助金等特別積立金	532,534,240	571,672,870	-39,138,630
(その他の固定資産)	793,994,562	718,644,456	75,350,106	その他の積立金	429,866,327	381,569,327	48,297,000
建物	2,838,604	3,249,003	-410,399	人件費積立金	42,000,000	42,000,000	
車輛運搬具	27,562,559	23,927,431	3,635,128	修繕積立金	22,000,000	15,000,000	7,000,000
器具及び備品	93,987,408	73,623,642	20,363,766	備品等購入積立金	29,520,000	29,520,000	
有形リース資産	29,241,612	36,913,093	-7,671,481	設備等整備積立金	4,620,000	4,620,000	
ソフトウェア	6,595,278	3,707,879	2,887,399	設備更新積立金	331,726,327	290,429,327	41,297,000
退職給付引当資産	203,696,548	195,060,314	8,636,234				
人件費積立資産	42,000,000	42,000,000					
修繕積立資産	22,000,000	15,000,000	7,000,000				
備品等購入積立資産	29,520,000	29,520,000					
設備等整備積立資産	4,620,000	4,620,000		<small>次期繰越活動増減差額</small>	1,172,434,013	1,280,139,789	-107,705,776
設備更新積立資産	331,726,327	290,429,327	41,297,000	<small>(うち当期活動増減差額)</small>	-59,408,776	-124,024,341	64,615,565
差入保証金	20,000	90,000	-70,000	純資産の部合計	2,135,834,580	2,234,381,986	-98,547,406
長期前払費用	136,226	453,767	-317,541				
その他の固定資産	50,000	50,000					
資産の部合計	2,776,325,412	2,850,277,376	-73,951,964	負債及び純資産の部合計	2,776,325,412	2,850,277,376	-73,951,964

事業活動計算書

(自) 令和2年 04月 01日 (至) 令和3年 03月 31日

令和2年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位:円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,826,119,099	1,788,249,779	37,869,320
		保育事業収益	207,502,513	206,430,154	1,072,359
		就労支援事業収益	136,064,964	138,117,963	-2,052,999
		障害福祉サービス等事業収益	1,194,501,496	1,182,229,078	12,272,418
		公益事業収益	46,592,738	37,746,146	8,846,592
		経常経費寄附金収益	1,422,624	1,445,639	-23,015
		その他の収益	1,026,440	1,856,604	-830,164
		サービス活動収益計(1)	3,413,229,874	3,356,075,363	57,154,511
	費用	人件費	2,273,247,211	2,283,872,234	-10,625,023
		事業費	384,278,409	381,793,005	2,485,404
事務費		604,478,051	606,025,677	-1,547,626	
就労支援事業費用		185,006,526	187,492,708	-2,486,182	
利用者負担軽減額		109,919	93,099	16,820	
減価償却費		124,604,226	123,173,393	1,430,833	
国庫補助金等特別積立金取崩額		-64,930,110	-64,386,471	-543,639	
徴収不能額			1,366,742	-1,366,742	
徴収不能引当金繰入		356,496	1,973,716	-1,617,220	
サービス活動費用計(2)	3,507,150,728	3,521,404,103	-14,253,375		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-93,920,854	-165,328,740	71,407,886	
サービス活動外の増減の部	収益	受取利息配当金収益	44,094	308,466	-264,372
		その他のサービス活動外収益	51,335,015	42,652,906	8,682,109
		サービス活動外収益計(4)	51,379,109	42,961,372	8,417,738
	費用	投資有価証券売却損		361,990	-361,990
		その他のサービス活動外費用	2,100,998	2,217,421	-116,423
		サービス活動外費用計(5)	2,100,998	2,579,411	-478,413
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		49,278,111	40,381,961	8,896,150	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-44,642,743	-124,946,779	80,304,036	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	25,881,840	23,888,380	1,993,460
		固定資産売却益	36,240		36,240
		その他の特別収益	56,782,288	1,378,685	55,403,603
		特別収益計(8)	82,700,368	25,267,065	57,433,303
	費用	固定資産売却損・処分損	11,394	540,187	-528,793
		国庫補助金等特別積立金積立額	25,791,480	23,406,440	2,385,040
特別費用計(9)		97,466,401	24,344,627	73,121,774	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		-14,766,033	922,438	-15,688,471	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-59,408,776	-124,024,341	64,615,565	
増減繰越額の活動の部	前期繰越活動増減差額(12)		1,280,139,789	1,259,005,197	21,134,592
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		1,220,731,013	1,134,980,856	85,750,157
	その他の積立金取崩額(15)		860,000	243,272,933	-242,412,933
	その他の積立金積立額(16)		49,157,000	98,114,000	-48,957,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		1,172,434,013	1,280,139,789	-107,705,776

# 点字ブロック 発明者は日本人だった！



皆さん、点字ブロックをご存じでしょうか？今や普通に見にする世界共通のツールとなつていますが実は日本人が発明者だった事はご存じでしょうか？

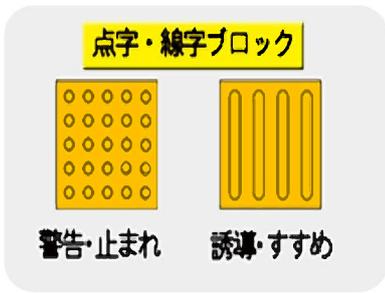
岡山県生まれの三宅精一という方が視覚障害者の為に作ったのが始まりと言われています。全盲の方は足や白杖で確認して歩いていきます。弱視や視野狭窄の方には黄色の目立つ色で道を確



認しています。多くが黄色のような目立つ色をしているのは、この様な理由からといわれています。またブロックの種類には、点状のブロックと線状のブロックがあり、点状を「警告ブロック」といい、線状を「誘導ブ

ロック」といいます。この記事を見たら皆さんも上手いかもしれませんよ。

ブロックは、先に危険な箇所がある事を知らせる物であり、誘導ブロックは突起の方向に沿って進む事を知らせる物となっております。こんな違いや意味があった事を皆さんご存じでしたか？



## みゃっこ隊 今までありがとう（植樹記念式典）

令和三年三月十一日東北地方を中心によくの尊い命が奪われ、壊滅的な被害をもたらした東日本大震災から十年の時が流れました。しかしながら、被災地では、未だに復興への道は半ばであり、またこの間、大規模な水害をはじめ、世界規模で大きな災害が発生し、今日では、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、世の中は混沌としていきます。三月十四日、東日本大震災の記憶が風化しないよう、品川総合福祉センターをはじめ、様々なベンチなどに、子ども達と一緒に願いを込めて



子ども達と一緒に願いを込めて

地支援の活動を継続してきた品川区職員ボランティア「みゃっこ隊」の皆さんが、十年の節目に、これまでの活動で得た資金で、岩手県宮古市から福島県富岡町の町花、ツツジ50株を取り寄せ、災害やコロナに打ち勝ち、平穏な世の中への願いを込めて植樹をしてくださいました。なお「みゃっこ隊」は、品川区と目黒のさんままつりにご縁のある被災地・宮古市と会津藩の忠君の士・白虎隊が有名な福島県富岡町の両都市を応援しようと命名されました。この「どうだんツツジ」が、その花ことばである「節制」、  
「上品」をもって平穏な世の中への願いとともに、すくすくと大きくなり、過去の災害による被害を忘れることなく、後世に伝えていってくださることを思います。



白い花を咲かせる  
どうだんツツジ